

2022年1月13日

輸送動向について（2021年度第3-四半期）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷の影響を受け、積合せ貨物、紙・パルプ、化学薬品を除く品目で前年を下回った。

自動車部品は、半導体不足および東南アジアでの新型コロナウイルス感染症まん延に伴う部品調達困難により、自動車各社が生産調整を行った影響で減送となったものの、期末にかけて生産調整は解消されつつある。エコ関連物資は、建設発生土の輸送が7月半ばに終了したため前年を下回ったほか、農産品・青果物は、北海道地区の夏季干ばつによる作柄不良に伴い玉葱や馬鈴薯を中心に低調に推移した。

一方、積合せ貨物は、3月および10月からのブロックト레인運転開始等により前年を上回ったほか、紙・パルプは、1月の洋紙値上げ前の駆け込み需要等により12月を中心に増送となった。結果、コンテナ全体では、対前年96.6%となった。

車扱は、石油が原油相場の騰勢に伴う価格上昇により需要が低迷し、中でも灯油は11月以降気温が高く推移したため低調となった。結果、車扱全体では前年比98.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比97.3%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	3-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,012	5,187	96.6%
車扱	2,311	2,341	98.7%
合計	7,323	7,528	97.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	521	563	-42	92.6%
	化学工業品	420	425	-5	98.7%
	化学薬品	331	325	6	101.8%
	食料工業品	794	808	-14	98.3%
	紙・パルプ	588	578	10	101.7%
	他工業品	336	373	-37	89.9%
	積合せ貨物	840	782	58	107.4%
	自動車部品	155	220	-65	70.3%
	家電・情報機器	84	89	-5	94.4%
	エコ関連物資	118	162	-44	73.1%
	その他	827	863	-36	95.8%
	コンテナ計	5,012	5,187	-175	96.6%
車扱	石油	1,583	1,619	-36	97.8%
	セメント・石灰石	374	373	1	100.4%
	車両	228	234	-6	97.5%
	その他	125	115	10	108.5%
	車扱計	2,311	2,341	-30	98.7%
合計		7,323	7,528	-205	97.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)